

別表 2 (第 4 関係)

調査対象有害動植物	調査方法※ 1				調査期間	調査回数	備考
	使用トラップ ※ 2	使用誘引剤	誘引剤の交換	トラップ 設置場所			
1. 節足動物							
チチュウカイミバエ ナタールミバエ	スタイナー型	トリメドルア剤	毎月 1 回	風通しの良い木陰（寄主植物又はその周辺が望ましい）等の地上 1.5 メートル程度の位置	日最高気温の月別平 年値が 14 度以上の 月	毎月 2 回	
ミカンコミバエ種群 モモミバエ		メチルオイゲノール剤	毎月 1 回				
ウリミバエ クインスランドミバエ		キュウルア剤	毎月 1 回				
カリブミバエ セイブオウトウミバエ ナスミバエ ミナミアメリカミバエ メキシコミバエ リンゴミバエ	マックファイル型又はガロン型	蛋白加水分解物 ※ 3	毎月 2 回				
コドリンガ	粘着式	コドレルア剤	毎月 1 回		日最高気温の月別平 年値が 12 度以上の 月		
トマトキバガ	粘着式	フェロモン剤 （主成分： E, Z, Z-3, 8, 11- 14acetate 及び E, Z-3, 8- 14acetate)			日最高気温の月別平 年値が 10 度以上の 月		
アリモドキゾウムシ	ロート型、円筒型又は粘着式簡易型	スウィートビルア剤	毎月 1 回	（1）ロート型又は円筒型はできる限り寄主植物周辺の地上部の位置 （2）粘着式簡易型は地上 50 センチメートル程度の位置	日最高気温の月別平 年値が 20 度以上の 月		

イモゾウムシ	(1) 寄主植物について、本種の寄生の有無を肉眼により調査する。 (2) 寄主植物がない場所においては、サツマイモ塊根を入れたトラップを設置し、調査する。サツマイモ塊根は毎月1回交換する。			
2. その他無脊椎動物				
アフリカマイマイ	(1) 日陰の高温多湿な場所において、本種の有無を肉眼により調査する。 (2) メタアルデヒド剤を入れたトラップを用いる場合には、緑地及び道路脇の植え込み等に設置し、本種の誘殺の有無を調査する。	降雨量の多い時期 (春期・秋期)	年2回	

※1 調査対象有害動植物の疑いのある動植物が発見された場合には、形態観察、遺伝子診断等により同定を行う。

※2 使用するトラップは調査対象有害動植物ごとに使用トラップの欄に記載のトラップを基本とするが、当該トラップと同等以上の効果を有するものであれば、記載されていないトラップも使用することができる。

※3 必要に応じて防腐剤として四ホウ酸ナトリウム十水和物（ホウ砂）を加えることができる(3%w/v)。